



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 富士通フロンテック株式会社  
コード番号 6945 URL <http://www.fujitsu.com/jp/frontech>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下島 文明

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 豊美 由喜夫

TEL 042-377-2544

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

平成26年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	48,822	0.0	426	12.8	576	137.6	343	—
26年3月期第2四半期	48,821	8.6	378	—	242	—	△395	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 211百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △231百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	14.32	14.26
26年3月期第2四半期	△16.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第2四半期	65,190	35,815	54.6	1,483.57
26年3月期	65,152	35,471	54.1	1,473.37

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 35,605百万円 26年3月期 35,236百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	110,000	1.9	4,900	20.6	4,300	8.4	3,000	68.0	125.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	24,015,162 株	26年3月期	24,015,162 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	15,411 株	26年3月期	99,199 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	23,971,972 株	26年3月期2Q	23,954,131 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)7ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	5
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	7
4. 四半期連結財務諸表	8
(1)四半期連結貸借対照表	8
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
第2四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	11
第2四半期連結累計期間	11
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	14
(5)重要な後発事象	14
5. 補足情報	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1)連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、国内外において緩やかな回復基調が続いているものの、急激な為替変動など、先行きに対する不透明感を強めながら推移いたしました。

このような状況のもと、金融ビジネスにおきましては、海外向けA T M用メカコンポーネントを中心に伸ばいたしました。流通ビジネスにおきましては、損益改善を目的に前年度に実施した国内外のソリューション事業再編の影響などにより減収となりました。産業・公共ビジネスにおきましては、表示システムの大口需要の一巡などにより、減収となりました。サービスビジネスにつきましては、店舗向けA T Mサービスや流通保守サービスなどが堅調に推移いたしました。以上により、連結売上高は48,822百万円（前年同期比0.0%増、1百万円の増）を計上いたしました。

損益につきましては、前年度から継続して取り組んできた事業効率化やコストダウン効果により、連結営業利益426百万円（前年同期は378百万円の利益、48百万円の増）となりました。連結経常利益につきましては、為替差益を計上したことなどにより、576百万円（前年同期は242百万円の利益、333百万円の増）、連結四半期純利益は343百万円（前年同期は395百万円の損失、738百万円の改善）となりました。

## ①当第2四半期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

	2013年度 第2四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年9月30日〕		2014年度 第2四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年9月30日〕		前年同期比	
	売上高比(%)	売上高比(%)	売上高比(%)	売上高比(%)	増減率(%)	増減率(%)
売上高	48,821	100.0	48,822	100.0	1	0.0
営業損益	378	0.8	426	0.9	48	12.8
経常損益	242	0.5	576	1.2	333	137.6
特別損益	△552	—	—	—	552	—
四半期純損益	△395	—	343	0.7	738	—

2014年度第2四半期累計期間の平均為替レート：103.05円/米ドル、16.63円/中国元  
2013年度第2四半期累計期間の平均為替レート：98.86円/米ドル、16.11円/中国元

## ②セグメント別の概況

(単位:百万円)

		2013年度 第2四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年9月30日〕		2014年度 第2四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年9月30日〕		前年同期比	
		売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		増減率(%)
報告 セグ メント	金融ビジネス	17,762	36.4	21,259	43.6	3,497	19.7
	流通ビジネス	10,873	22.3	8,682	17.8	△2,191	△20.1
	産業・公共ビジネス	10,794	22.1	9,525	19.5	△1,268	△11.8
	サービスビジネス	8,785	18.0	8,847	18.1	61	0.7
その他		605	1.2	507	1.0	△97	△16.1
計		48,821	100.0	48,822	100.0	1	0.0
国内		35,341	72.4	33,267	68.1	△2,073	△5.9
海外		13,480	27.6	15,554	31.9	2,074	15.4
		営業損益		営業損益		前年同期比	
報告 セグ メント	金融ビジネス	872		666		△206	
	流通ビジネス	△722		△459		262	
	産業・公共ビジネス	278		180		△97	
	サービスビジネス	480		516		36	
その他		△2		42		45	
全社費用		△527		△519		7	
計		378		426		48	

当第2四半期連結累計期間における各セグメント別の概況は以下のとおりです。

## ＜金融ビジネス＞

金融ビジネスにつきましては、海外向けATM用メカコンポーネントが中国や欧州市場向けを中心に引き続き好調に推移したことに加え、手のひら静脈認証システムが国内外において伸長いたしました。これらにより、連結売上高は21,259百万円（前年同期比19.7%増、3,497百万円の増）となりました。

損益につきましては、売上高の増加に伴い荒利益は増加したものの、海外向けATM用メカコンポーネントの新製品等の開発など先行投資を進めたことに加え、国内営業店端末の大口需要が一巡したことなどにより、連結営業利益は前年同期比で206百万円減少し、666百万円となりました。

### <流通ビジネス>

流通ビジネスにつきましては、損益改善を目的に前年度に実施した国内店舗ソリューション事業および北米子会社のSCOソフトウェア事業の再編に伴い、売上高が減少いたしました。さらに、海外市場向けPOSにつきましては、前年度に大口商談があったことによる反動で、前年度比では減収となりました。その結果、連結売上高は8,682百万円（前年同期比20.1%減、2,191百万円の減）となりました。

損益につきましては、売上高の減少はあったものの、前年度から取り組んでいる構造改革や事業効率化の効果などにより、第2四半期では黒字化を達成いたしました。第2四半期連結累計期間としては、前年同期比で262百万円改善し、連結営業損失は459百万円となりました。

(単位：百万円)

	2014年度実績			前年同期比		
	第1四半期	第2四半期	第2四半期 (累計)	第1四半期	第2四半期	第2四半期 (累計)
売上高	3,332	5,350	8,682	△1,309	△881	△2,191
営業損益	△479	19	△459	181	80	262

### <産業・公共ビジネス>

産業・公共ビジネスにつきましては、トータルゼータ端末が伸長いたしました。一方、表示システムの大口商談が一巡したことに加え、スマートフォン関連の検証ビジネスの減収がありました。以上の結果、連結売上高は9,525百万円（前年同期比11.8%減、1,268百万円の減）となりました。

損益につきましては、徹底したコストダウンに取り組みましたが、表示システムなどの減収に伴う減益を補うにはいたらず、連結営業利益は180百万円となり、前年同期比では97百万円の減益となりました。

### <サービスビジネス>

サービスビジネスにつきましては、店舗向けATMサービスや流通保守サービスを中心に堅調に推移いたしました。この結果、連結売上高は8,847百万円、連結営業利益は516百万円と前年同期並みで推移いたしました。

## (2)連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産・負債・純資産の状況

(単位:百万円)

	2013年度 連結会計年度末 (2014年3月31日)		2014年度 第2四半期連結会計期間末 (2014年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)	金 額	増減率(%)
流動資産	47,075	72.3	46,870	71.9	△205	△0.4
(現金及び預金等)	( 6,233)	( 9.6)	( 7,965)	( 12.2)	( 1,732)	( 27.8)
(受取手形及び売掛金)	( 23,844)	( 36.6)	( 20,551)	( 31.5)	( △3,293)	( △13.8)
(たな卸資産)	( 14,562)	( 22.4)	( 15,366)	( 23.6)	( 804)	( 5.5)
固定資産	18,076	27.7	18,320	28.1	243	1.3
資産合計	65,152	100.0	65,190	100.0	38	0.1
流動負債	24,509	37.6	24,031	36.9	△478	△2.0
(支払手形及び買掛金)	( 15,950)	( 24.5)	( 15,936)	( 24.4)	( △13)	( △0.1)
(短期借入金)	( 1,235)	( 1.9)	( 1,313)	( 2.0)	( 78)	( 6.3)
(未払金他)	( 6,744)	( 10.4)	( 6,163)	( 9.5)	( △580)	( △8.6)
固定負債	5,171	7.9	5,343	8.2	172	3.3
負債合計	29,680	45.6	29,374	45.1	△305	△1.0
株主資本	36,008	55.3	36,512	56.0	504	1.4
その他の包括利益累計額	△771	—	△906	—	△135	—
少数株主持分他	234	0.4	210	0.3	△24	△10.3
純資産合計	35,471	54.4	35,815	54.9	344	1.0
負債純資産合計	65,152	100.0	65,190	100.0	38	0.1

  

自己資本	35,236	35,605	368	1.0
自己資本比率	54.1%	54.6%	0.5	

2014年度第2四半期末の為替レート:109.45円/米ドル、17.75円/中国元  
2013年度末の為替レート:102.92円/米ドル、16.58円/中国元

## &lt;資産、負債、純資産の状況&gt;

資産については、ほぼ前年度末並みの65,190百万円となりました。受取手形及び売掛金の回収を中心に、キャッシュ・フローが改善し、手元現金が増加致しました。

負債については、法人税の支払い等により、305百万円減少し、29,374百万円となりました。

純資産については、主として当期純利益の影響により344百万円増加し、35,815百万円となりました。自己資本比率は、54.6%と0.5ポイント増加となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2013年度 第2四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年9月30日〕	2014年度 第2四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年9月30日〕	前年同期比
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
（税金等調整前四半期純損益）	（ △310）	（ 576）	（ 886）
（減価償却費及びのれん償却額）	（ 1,970）	（ 1,792）	（ △177）
（売上債権の増減額（△は増加））	（ 6,110）	（ 3,583）	（ △2,526）
（たな卸資産の増減額（△は増加））	（ △3,188）	（ △526）	（ 2,662）
（仕入債務の増減額（△は減少））	（ 913）	（ △309）	（ △1,223）
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,948	3,971	23
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△390	△1,640	△1,250
I+IIフリーキャッシュ・フロー	3,558	2,331	△1,227
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,331	△739	1,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	153	104
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,275	1,744	469
現金及び現金同等物の期首残高	2,137	6,221	4,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,412	7,965	4,553

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## ＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、3,971百万円のプラスとなりました。これは売上債権の回収による収入が増加したことが主要因であります。前年同期比では23百万円の収入増となりました。

## ＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,640百万円のマイナスとなりました。固定資産の取得による支出が主要因であります。前年同期比では1,250百万円の支出増となりました。

その結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリーキャッシュ・フローは2,331百万円のプラスとなり、前年同期比では1,227百万円の収入減となりました。

## ＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動によるキャッシュ・フローは739百万円のマイナスとなりました。これは配当金の支払い、及びリース料の支払いが主要因であります。

これらの結果現金及び現金同等物の期末残高は7,965百万円と、前年度末からは1,744百万円の増加となりました。



(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、国内外経済の動向、為替変動リスク等の不透明感もあるため、平成26年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引した割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,045	3,373
預け金	3,188	4,592
受取手形及び売掛金	23,844	20,551
製品	5,505	5,346
仕掛品	5,282	5,435
原材料及び貯蔵品	3,774	4,584
繰延税金資産	1,229	1,441
その他	1,216	1,551
貸倒引当金	△11	△7
流動資産合計	47,075	46,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,640	2,603
機械装置及び運搬具（純額）	319	269
工具、器具及び備品（純額）	5,760	5,989
土地	2,050	2,063
建設仮勘定	532	824
有形固定資産合計	11,304	11,748
無形固定資産		
のれん	863	767
ソフトウェア	2,672	2,695
その他	221	216
無形固定資産合計	3,757	3,680
投資その他の資産		
投資有価証券	468	455
繰延税金資産	1,581	1,418
デリバティブ債権	588	650
その他	409	400
貸倒引当金	△32	△33
投資その他の資産合計	3,014	2,891
固定資産合計	18,076	18,320
資産合計	65,152	65,190

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,950	15,936
短期借入金	1,235	1,313
リース債務	1,052	1,086
未払金	2,488	2,165
未払費用	2,469	2,508
未払法人税等	681	353
役員賞与引当金	52	25
資産除去債務	-	23
その他	580	617
流動負債合計	24,509	24,031
固定負債		
リース債務	2,969	3,181
役員退職慰労引当金	35	32
退職給付に係る負債	1,998	1,977
資産除去債務	166	151
固定負債合計	5,171	5,343
負債合計	29,680	29,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,457	8,457
資本剰余金	8,223	8,222
利益剰余金	19,388	19,842
自己株式	△61	△9
株主資本合計	36,008	36,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	26
繰延ヘッジ損益	21	△3
為替換算調整勘定	△63	107
退職給付に係る調整累計額	△698	△1,037
その他の包括利益累計額合計	△771	△906
新株予約権	82	57
少数株主持分	152	153
純資産合計	35,471	35,815
負債純資産合計	65,152	65,190

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	48,821	48,822
売上原価	40,629	40,408
売上総利益	8,192	8,414
販売費及び一般管理費	7,814	7,987
営業利益	378	426
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	2	2
為替差益	94	262
雑収入	50	40
営業外収益合計	158	323
営業外費用		
支払利息	58	52
固定資産廃棄損	10	3
固定資産売却損	121	-
出向者人件費負担額	21	48
雑支出	83	69
営業外費用合計	294	173
経常利益	242	576
特別損失		
事業構造改善費用	218	-
特別退職加算金等	280	-
減損損失	54	-
特別損失合計	552	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△310	576
法人税、住民税及び事業税	264	283
法人税等調整額	△188	△54
法人税等合計	75	229
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△386	347
少数株主利益	9	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△395	343

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△386	347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	56
繰延ヘッジ損益	74	△24
為替換算調整勘定	100	171
退職給付に係る調整額	△23	△339
その他の包括利益合計	154	△135
四半期包括利益	△231	211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△240	207
少数株主に係る四半期包括利益	9	3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△310	576
減価償却費	1,764	1,696
のれん償却額	205	96
減損損失	54	-
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12	△3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	△27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	△3
株式報酬費用	19	24
受取利息及び受取配当金	△14	△19
支払利息	58	52
為替差損益(△は益)	△21	△92
固定資産売却益	△1	△0
固定資産売却損	121	-
固定資産廃棄損	61	4
特別退職加算金等	280	-
売上債権の増減額(△は増加)	6,110	3,583
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,188	△526
未払費用の増減額(△は減少)	△173	42
仕入債務の増減額(△は減少)	913	△309
その他	△921	△310
小計	4,910	4,767
利息及び配当金の受取額	14	19
利息の支払額	△58	△52
法人税等の支払額	△917	△763
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,948	3,971
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	12
有形固定資産の取得による支出	△856	△1,809
有形固定資産の売却による収入	689	698
無形固定資産の取得による支出	△624	△545
無形固定資産の売却による収入	389	1
貸付けによる支出	△17	△24
貸付金の回収による収入	20	23
その他投資活動による支出	△2	△12
その他投資活動による収入	11	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390	△1,640

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,597	-
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△42	△1
配当金の支払額	△191	△215
リース債務の返済による支出	△496	△520
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,331	△739
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	153
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,275	1,744
現金及び現金同等物の期首残高	2,137	6,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,412	7,965

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日) (単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融 ビジネス	流通 ビジネス	産業・公共 ビジネス	サービス ビジネス				
売上高	21,259	8,682	9,525	8,847	507	48,822	-	48,822
営業利益又は 営業損失(△)	666	△459	180	516	42	946	△519	426

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、金型・切削加工事業、従業員向け福利厚生事業等を含んでおります。

(注2) 営業利益又は営業損失の調整額△519百万円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△519百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究等の戦略費用及び親会社のグループ経営管理・サポート機能に係る費用等であります。

## (5) 重要な後発事象

該当事項はありません。



## 5. 補足情報

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月
売上高	21,232	27,590		
売上総利益	2,981	5,432		
営業利益又は損失(△)	△963	1,390		
経常利益又は損失(△)	△1,080	1,657		
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,080	1,657		
四半期純利益又は純損失(△)	△735	1,078		
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△30円72銭	44円95銭		

総資産	61,800	65,190		
純資産	34,471	35,815		
1株当たり純資産	1,428円71銭	1,483円57銭		
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,201	△1,230		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690	△950		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491	△248		
現金及び現金同等物期末残高	10,218	7,965		

平成26年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月
売上高	20,336	28,485	26,410	32,681
売上総利益	2,830	5,361	4,956	6,729
営業利益又は損失(△)	△1,146	1,525	1,042	2,641
経常利益又は損失(△)	△1,025	1,267	1,421	2,301
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,243	933	1,421	1,991
四半期純利益又は純損失(△)	△914	519	873	1,307
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△38円17銭	21円70銭	36円53銭	54円65銭

総資産	61,035	63,600	61,837	65,152
純資産	33,640	34,201	34,926	35,471
1株当たり純資産	1,393円87銭	1,420円28銭	1,450円45銭	1,473円37銭
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,490	△2,542	2,371	1,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377	△12	496	235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,938	△393	△1,589	△285
現金及び現金同等物期末残高	6,365	3,412	4,868	6,221